

世代を超えた取り組みに感動しました。特に、高校生世代の青少年も参加していることが、本当に素晴らしいと思います。そして、今忘れられようとしている地域の支え合いへの希望を感じます



ここへ行けば誰かがいるという居場所であり、評価されない安心感が持てる居場所だと思います。そして、取り組んだことを発表できる場でもあります



保護者の声

青少年育成として誇るべき取り組みだと思います。今後、近隣地域での発表の機会を創出し、けん玉を通じた地域交流が生まれれば、また違った意義も出てくるかと思っています



成功・失敗にこだわらず、発表会などに参加したことが子どもたちの何よりの経験になり素晴らしい活動だと心から思いました



大人も一緒になって活動できることで、お互いに教え、支え合って楽しめる場所になっていると感じました。世代を超えたけん玉というツールを通して、いい距離感で子どもたちを支え続けられることを学ばせていただきました



担当者の振り返り

10年間活動を続ける中で、子どもたちの挑戦する心や、成功を喜び何度でも挑戦する姿勢は変わりませんでした。一方で、活動を通じて育った子どもたちがスタッフとして戻り、次の世代を支える「健全育成の循環」が生まれたことは大きな成果です。また、この活動は子どもたち一人ひとりの居場所となり、普段の生活や学校とは異なる表情で、安心して自分らしく過ごせる場にもなっています。けん玉を通して人とのつながりを築き、自信や思いやりを育み、「笑・輪・和」の理念が自然に受け継がれていることが、この10年間で得られた最大の財産だと感じています。



参加者同士の協調性を育む「けん玉ダンス」。



毎回活動の最後には作文で振り返りを実施。



市民まつりで技を披露する様子。

今後の予定

参加無料・事前申込不要

子どもから大人まで、初心者歓迎！ぜひお気軽にご参加ください！

- 10月11日(日) コミュニティプラザひまわり
- 11月8日(日) コミュニティプラザひまわり
- 12月6日(日) 児童センター(ころぼっく) ホール
- 1月17日(日) 児童センター(ころぼっく) ホール
- 2月7日(日) 児童センター(ころぼっく) ホール
- 2月21日(日) 児童センター(ころぼっく) ホール
- 3月7日(日) 児童センター(ころぼっく) ホール
- 3月14日(日) 児童センター(ころぼっく) ホール

時 間：10:00～12:00(受付は9:45～)
内 容：もしかめ、けん玉ダンス、作文など
持ち物：けん玉(貸し出しあり)、
飲みもの、タオル
その他：動きやすい服装、運動靴
(サンダル、ブーツ不可)



地域のみんなで子どもたちを見守る 「きよせけん玉の“Wa”」

幼児から小学生、中高生までが集い、楽しく・みんなで・良い人間関係を育んでいる「きよせけん玉の“Wa”」。世代を超えた交流が生まれるだけでなく、挑戦を重ねる中で成功や失敗を経験し、自己肯定感や協調性を育む場として、多くの子どもたちの成長を支えています。

音楽とのシンクロ、仲間との共鳴
みんなで息を揃える喜びが溢れる

「きよせけん玉の“Wa”」は、清瀬市青少年委員が中心となり、地域のみんなで子どもたちの成長を見守る活動です。けん玉の上手さだけを求めるのではなく、「もしかめ」※をしながら踊るダンスを通して愉しみながら人と人とのつながりを育んでいます。毎月1回開催され、幼児から大人まで幅広い世代が参加しています。音楽に合わせてけん玉を動かし、一人ひとりが自分のペースで楽しみながら周りとの息を合わせて取り組むことで、自然と相手を思いやる気持ちや協力する心が育まれます。また、学校や学年を超えた交流は新たな「輪」を広げ、地域全体で子どもたちを見守るあたたかな関係づくりにもつながっています。みんなで動きを揃え、一体感や達成感を味わうことで、たくさんの「笑」が生まれ、互いを尊重し支え合う「和」の心も育まれる「きよせけん玉の“Wa”」。「Wa」には、「笑」「輪」「和」の3つの意味が込められています。「愉しく」「みんなで」「よい人間関係」を育むことを大切にしながら、これからも地域全体で子どもたちの健やかな成長を支えていきます。



※玉を大皿と中皿に交互に乗せ替えることを連続で行う基本技



令和8年(2026年)7月12日(日)に参加した方々。

